

# 市政功労章を受章されました

## 市政功労章とは

甲府市表彰条例に基づき、本市自治の振興を図り、公共の福祉増進のために功績があった方の中から、議会の議決を経て授与する最高位の顕彰制度です。



さくらい まさとみ  
櫻井 正富さん

甲府市議会議長や公益財団法人甲府市体育協会副会長などの要職を歴任され、本市の発展と市民福祉の増進に貢献されました。



いまい りつし  
今井 立史さん

社団法人甲府市医師会会長や一般社団法人山梨県医師会会長などの要職を歴任され、保健衛生の向上と地域医療の充実に貢献されました。



## とびだせ！市民レポーター！

### 『手話奉仕員養成講座』の様子を見てみよう！

「手話奉仕員養成講座」は、毎年5月から翌年3月まで、毎週水曜日、午後7～9時に開催されている手話講座です。受講者のリアルな感想を取材してきました！



▲参加募集が始まるとすぐに申込がいっぱいになってしまう、人気の講座です

### 手話奉仕員養成講座とは？

聴覚障がい者のコミュニケーションの円滑化を図るため、1970年、国が手話通訳制度として「手話奉仕員養成事業」を開始しました。現在は市町村事業として『厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム』に基づいて実施されています。ろう者の生活や関連する福祉制度などについての理解促進、手話で日常会話を行うために必要な手話語彙、手話表現技術の習得が目標です。

### 手話初心者でもわかりやすい講義



▲この日のろう講師、小澤さん

手話を言語として生活している講師と、手話通訳の資格をもつ講師がペアになって指導してくれます。この日の講義は「聴覚障がい者の活動と福祉制度」について。手話は言語であること、社会的障壁、例えば街の中で手話を使うと白い目で見られる、「就労の幅が狭い」などの聴覚障がい者の歴史について説明していました。「内容が難しいのかな？」と思いましたが、質問をするなど、お互いにやり取りをしながら進めており、初心者でもわかりやすかったです。



▲受講者からも積極的に質問が出ていました

### 受講者に聞きました！

何人かに話を聞いてみたところ、「いつも同じ人ではなく、いろいろなろう講師と通訳講師が指導してくれるので、おもしろくて楽しい！」と笑顔で話してくれました。「聞こえない人と手話で会話できるレベルを目指したい」、「手話を習得して、行事やイベントなどで何か手助けになればいい」、「記者会見など知事や市長の隣で通訳できるレベルを目指したい」、「病院に勤めているので、来院するろう者のためにも病院内に手話を普及させたい」などの目標も教えてくれました。皆さんの夢が実現できるような、応援しています！



▲男性、女性、若い方からご年配の方まで、さまざまな方が受講していました

### 今月の担当レポーター 深澤 朗子

ろう講師が手話指導をしながら、通訳の講師が読み取って伝えたり、受講者の言いたいことを通訳したりするので、手話がわからない人も安心して受けられますね！「聞こえない人と手話で話したい」、「手話を扱ったテレビドラマを見て覚えたいと思った」など、受講のきっかけもさまざまでした。皆さんも、気軽に受講してみませんか？



市民レポーターブログ  
もご覧ください▶

【市ホームページ】

市民レポーターブログ

検索

